

## 令和4年度大規模災害時の支援協力連絡会（熊毛ブロック）議事録

場所 : 熊毛支庁 第1会議室  
期日 : 令和4年6月7日(火) 13:30~14:40  
参加者 : 熊毛支庁 吉村建設部長 永迫建設課長  
川畑技術補佐 平田道路建設係長  
西田河川砂防係長 川原港湾空港係長  
後藤建築係長  
(事務局) 本地技術調整係長  
屋久島事務所 松本課長  
牛込道路係長  
測量設計業協会 福田副会長 篠原理事 萩原理事  
連絡責任者(正) 鹿児島土木設計(株) 鎌田  
連絡責任者(副) (株)萩原技研 西門  
地質調査業協会 梶原理事長 今奈良副理事長 宇都理事  
連絡責任者 山元新栄地質株式会社 美坂

### 会議資料

#### 熊毛支庁より 資料Ⅰ

- 1、令和4年度の連絡体制（熊毛支庁建設部・屋久島事務所）
- 2、熊毛支庁管内の公共土木施設概況（種子島地区）
- 3、熊毛支庁管内の公共土木施設概況（屋久島地区）
- 4、参考資料 協定書写し・実施要領・各文書様式（資料Ⅳ）

#### 測量設計業協会より 資料Ⅱ

- 1、大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定（経緯）
- 2、災害支援協力のフロー図
- 3、大規模災害時における被害状況調査の応援支援協力に関する連絡体系図
- 4、令和4年度の連絡体制（鹿児島県測量設計業協会）

#### 地質調査業協会より 資料Ⅲ

- 1、資料1 大規模災害時における地質調査等の支援協力について
- 2、資料2 大規模災害時における地質調査等の支援協力要請提出物様式
- 3、資料3 大規模災害時における地質調査業協会の緊急連絡先・支援本部連絡体系図

### 議事録

#### 1. 開会挨拶

吉村建設部長挨拶・福田副会長挨拶・梶原理事長挨拶

#### 2. 令和4年度の連絡体制について

○資料Ⅰ(熊毛支庁)、資料Ⅱ(測量協会)、資料Ⅲ(地質協会)に基づき連絡体制の説明

3. 熊毛支庁管内における公共土木施設概況について

○資料Ⅰ(熊毛支庁)に基づき施設概況の説明

4. 支援協力について

測量設計業協会(篠原理事)より、別紙資料に基づき令和4年度の災害協定について説明

○資料Ⅱ(測量設計業協会)に基づきフロー図、協定経緯、実施要領、留意事項の説明

地質調査業協会(梶原理事長)より、別紙資料に基づき令和4年度の災害協定について説明

○資料Ⅲ(地質調査業協会)に基づき協定経緯、支援実績、留意事項の説明

5. 質疑応答

【支庁より】

- ・災害支援協力要請時には、測量設計業協会と地質調査業協会のどちらに連絡したほうがよいですか。

【測量協会より】

- ・大規模な地滑り発生等は、応急対応を迅速に行う必要があるため発注者の判断となりますが、測量業設計業協会では被害調査票作成時に地質調査の必要性も報告しています。

【支庁より】

- ・国に提出する被害報告表と災害支援協力被害状況調査票を関連付けることはできませんか。

【測量協会より】

- ・被害報告表と照らし合わせて検討します。

【測量協会より】

- ・大規模災害時の応援支援協力は、結果を1週間以内に報告する必要から詳細な平面図等や写真を求められると時間を要するため、御配慮をお願いします。  
災害現場への踏査が困難な箇所については、被災箇所をドローンで撮影する場合があります。

また、事故が発生した場合、現在は各社で責任を負うこととしていますが、速やかな現場着手の要請があった場合は、本契約に移行するまでの期間内は仮契約を結び労災等の適用が受けられるよう、ご検討をお願いします。

【支庁より】

- ・被災状況調査の有無を目印等で入れてほしい。

【測量協会より】

- ・目印テープ・木杭打設等を行っていますが、今後、統一を図ります。

【支庁より】

- ・査定になると被災直後の痕跡がはっきりわかる状況写真が重要で、特に机上査定の場合は査定官の理解も得られやすいため、目的に応じた情報収集と資料の提供をお願いします。

**【支庁より】**

- ・被災状況調査をもとに現場に行く場合、緯度・経度を記載して欲しい。  
調査範囲は、広めでの調査をお願いします。

**【測量協会より】**

- ・地理院マップ・グーグル位置情報が利用できるよう提供します。  
また、調査範囲については、漏れがないよう広めでの調査を行います。

**【地質協会より】**

- ・地質協会では、地質調査等の支援協力に備えて、旅費の積み立て等を行い予算化し、かつ、保険にも加入しているため、いつでも支援できる体制としています。

**【測量協会より】**

- ・大規模災害時における被害状況調査の応援支援協定に基づく支援時の道路・河川台帳等データ提供については、データ提供に時間を要するため、クラウド上の情報提供になればスムーズになると思います。現在は、道路・河川台帳等データ提供フローに基づいて、鹿児島県建設技術センターからの提供してもらっています。

**【支庁より】**

- ・支援協力は、あくまでもボランティアの位置づけということであるが、調査後にいろいろな情報の提供を求められますか。

**【測量協会より】**

- ・各振興局での要望がありますが、災害支援協力被害状況調査票に基づいたものでお願いします。

**【支庁より】**

- ・熊毛支庁管内は、まだ梅雨に入っていませんが、災害がなければいいと思います。  
また、本日の大規模災害時の支援協力連絡会を情報共有と意見交換を行うことにより改善点を見出し、連携を図りながら協力をお願いします。

状況写真





